

常潤の誉れ

鹿児島県立加世田常潤高等学校

常潤高産牛肉 子どもら堪能

南さつま

南さつま市のNPO法人「てしおて」(崎山尚子代表)が運営する子ども食堂は1月27日、地元の加世田常潤高校産牛肉を市民センターで振る舞った。牛を育てている高校生も訪れ、小学生ら約50人と一緒に焼き肉を味わった。写真。

南九州黒牛枝肉共励会を主催する牛肉生産・加工のカミチク(鹿児島市)が、高校生の部に出品された牛

肉を買い取り、各地元の子ども食堂に寄付。会場では、A4等級5ギ分が振る舞われ、同校の柕木義行教諭(54)が餌の工夫や牛にストレスを与えない気配りなどを説明した。

加世田小学校3年の今給黎みなみさんは「育てる大変さや命を頂くことのおいしさが分かった。おいしかった」と話した。加世田常潤高2年の小田拓海さん、中村愛梨さんは「子どもたちから質問をたくさん受けうれしかった」と喜んだ。(犬塚政志)

